

物発爆に首相

衆院補選の演説会場

和歌山、避難し無事

県警、取り押さえた男逮捕



衆院和歌山1区補欠選挙の応援演説に訪れた雑賀崎漁港で手を振る岸田首相
15日午前11時18分、和歌山市



岸田首相が衆院和歌山1区補欠選挙の応援演説に訪れた和歌山市の雑賀崎漁港で、発煙筒のようなものを投げ込み取り押さえられる男(中央上) 15日午前11時28分

岸田文雄首相が15日午前、衆院和歌山1区補欠選挙応援で訪れた和歌山市の雑賀崎漁港で街頭演説を始める前、発煙筒のようなものが投げ込まれ、爆発した。首相にけがはなく無事。演説会場を車で離れ避難し、

同市内の県警本部へ移動した。県警によると、男1人を取り押さえ、威力業務妨害容疑で逮捕した。爆発物が投げられたのは午前11時25分ごろ。爆発物は煙を噴き上げ、放物線を描いて投げ込まれた。「ド

ン」という大きな爆発音とともに白い煙が上がり、会場には焦げ臭いにおいが漂い、聴衆らの悲鳴などで騒然となったという。首相は同漁港で予定していた街頭演説を取りやめた。首相は警護官(SP)に警護され、数十台先の車の陰まで退避。首相は一瞬驚いた表情を見せたという。首相は3月5日に衆院山口2、4区で衆参5補選に向けた地方行脚をスタートさせていた。

政治家への襲撃を巡っては昨年7月8日、安倍晋三元首相が参院選応援で訪れた奈良市で街頭演説中に銃撃され、死亡した。警察庁は要人警護体制を強化。4月の統一地方選、5月の先進7カ国首脳会議(G7広島サミット)に向けて警備の徹底を呼びかけていた。